

『大崎町が熱い！テレビ取材次々と！』

2月に地球温暖化対策を競う全国大会“ストップ地球温暖化大作戦”で見事『地域循環賞』を受賞し、現在、メジャーリーグを含むプロ野球選手を3人も輩出している大崎町が、テレビ取材のターゲットとなっている。

町長室には、カメラやマイクを持った取材陣が続々と訪れ、緊張した面持ちの町長からコメントをもらっている。「今年になって、テレビで大崎町の名を数多く見るようになった」といううれしい声を聞く。

これから先も、どこに出ても恥ずかしくない大崎町であってほしいと願うのは、私だけだろうか。



『南九州大崎ロータリークラブが寄贈』

広報おおさき3月号のタウンピックアップ『ボランティアが盛んです②』で紹介した南九州大崎ロータリークラブ会員の方々が、クラブ創立10周年を記念して4月2日(水)、町長室を訪れ、町内各小学校の児童約800人に防犯ブザーを、各中学校にAED（自動体外式除細動機）を1台ずつ寄贈されました。

会長の上村雅彦さんは「これからの世代を担う子ども達が、安全・安心に暮らせるように少しでも役に立てたら幸いです。」と話され、町長は「万一のときに大変助かります。心温まるプレゼントをいただき、本当にありがとうございました。」と話していました。

『大崎中学校にある桜の秘密！』

あなたは、大崎中学校のグラウンド周りに桜が咲いているのを知っていますか？出会いと別れをピンクの花びらで演出している桜。一年を通してわずかな期間だけしか咲かない桜だが、その姿はまさに、日本を代表する美しい風景を生み出している。

この桜を大崎中学校にと、今から43年前に植えたのは、高瀬重義さん（80歳）。息子の大崎中学校卒業を記念して10本の桜を植えた。高瀬さんは「こんなに綺麗な花を咲かすようになったんだな」と、植えてから43年経った桜を、我が息子のように眺めながらぼつりつぶやいた。

たくさんの出会いと別れを見守ってきた桜は、大崎中学校とともに、これからもきれいな花を咲かせてくれることだろう。

